

ラーモスで第1回梨祭り

展示品も販売、好評を博し

巨大梨「アスカ」のセリ売りも

ラーモス日伯文化協会(尾中弘孝会長)主催、サンタ・カタリーナ(S)州フレイ・ロジェリオ市役所後援による第1回梨祭り・ラーモス農産展が5日、ラーモス移住地で行われた。初めての同祭開催と前日の雨天などから主催者側では当初、日本梨の売れ残りなどを懸念していたようだ。しかし、当日は地元や周辺地域をはじめ、遠方からもSC州都のフロリアノポリスやパラナ州各地など約800人が来場して賑わい、目玉商品の日本梨は展示品まで販売するほどの好評を博した。



開会式の様子 (写真提供=滝沢夏美氏)



展示された日本梨などの農産品 (写真提供=香山晴彦氏)

同祭当日は午前9時に開門し、同11時から開会式が開催。主催者の尾中会長をはじめ、来賓としてフレイ・ロジェリオ市

長のジャイル・ダ・シルバ・リベイロ氏、同市議会長のアンドレ・ダ・ロルダ氏、地元選出のニルソン・ベルランド州議、カルメン・ザノット州議、小川アデマール和郎平和資料館再建委員長らが出席した。

会場では昼食用の食品の販売をはじめ、太鼓演奏、踊り、剣道、居合道、武術など各種デモンストレーションが披露された。また、折り紙と太鼓のワークショップや長崎原爆被爆について梨祭りの開催は急な決定だったため、わずかに1カ月間の準備期間しかなく、関係者は「初め

の催しでもあり、十分な広報もなされないまま当日を迎えた上、前日の雨もあつて来場者がどのくらいになるかの見当もつかない不安な状態でのスタートだった」と振り返る。

しかし、フェイスブックなどの活用で短期間の広報と5レアルの入場料にもかかわらず、当日はイタジャイ、フロリアノポリスやパラナ州マリニャ、クリチバなど遠方からも含めて約800人の来場者で賑わった。目玉商品である日本梨は、売れ残りを心配して当初は200箱を用意していたそうだが、特に団体の購買力が高く、午後過ぎには完売。展示品の日本梨もすべて販売に回した上、セアザ出荷分まで売れるほどの盛況を博したという。

また、会場ではメインの日本梨に加えて、主にブラジル人生産者が出品した特産のアーリオ(ニンニク)のほか、蔬菜や穀物などが展示された。特に、梨の超大型種「アスカ」の中でも2・3キロの巨大梨が来場者の注目を浴びていた。

展示物も祭り終盤に販売されたが、この巨大アスカは購入希望者が多かったため、プログラムに予定されていなかったセリに掛けられることになり、出品者がつけた30レアルを大きく超える150レアルまでせり上げられ、会場を沸かした。

なお、差額の120レアルは文協に寄付された。同祭を主催したラーモス日伯文化協会では、最近こうしたフェスタに警備や救急車の配備が当局から義務付けられたために経費がかさむようになったとし、各イベントの経営収支の黒字化が必須とされる中で今回の初めての梨祭りが成功したことを喜び、来年の開催に向けて早くも意欲を見せている。

伯国100人の ビジネスリーダー 青木智栄子氏が選ばれる

ブラジルの経済誌「エ
ザイメ(EXAME)」の
3月17日号が、スペイン
のコンサルティング会社
メルコ(Mercor)社

が調査した「2016年
ブラジルで最も評価され
た100人のビジネス
リーダー」のリストを掲
載した。

これは、2014年以
来、同社が3年ぶりに調
査したもので、企業幹
部、金融アナリストなど
の専門家など約2000

人を対象に選出したもの
で、1000人の中に日系
人として唯一、ブルーツ
リーホテルズの経営者、
青木智栄子社長が94位に
ランクされている。前回
の調査ではランク外だっ
たものが一挙にランク入
りしたことは、日系コロ
ニアにとって快挙と言え
る。

が調査した「2016年
ブラジルで最も評価され
た100人のビジネス
リーダー」のリストを掲
載した。

これは、2014年以
来、同社が3年ぶりに調
査したもので、企業幹
部、金融アナリストなど
の専門家など約2000

人を対象に選出したもの
で、1000人の中に日系
人として唯一、ブルーツ
リーホテルズの経営者、
青木智栄子社長が94位に
ランクされている。前回
の調査ではランク外だっ
たものが一挙にランク入
りしたことは、日系コロ
ニアにとって快挙と言え
る。



青木智栄子氏

青木社長は、「私を支
援していただいている日
系コロニアの皆様のお陰
です。私に続く実業家の
皆さんの励みになれば、
こんなに嬉しいことはあ
りません」と日系人トッ
プリーダーとして次世代
の育成も視野に入ってい
る。



ラーモス移住地で初め
ての梨祭りが開催され
たが、主催者の事前の不安
を吹き飛ばす盛況ぶり
だったようで何より。日
本梨は20年ほど前から同
地で研究栽培され、移住
地の人たちが試行錯誤し
ながら生産してきたも
の。梨祭りが開催できる
ほど生産量も増え、品質
も良くなったことでサン
パウロでも美味しい日本

梨を食べることができ
ようになったことは本当
にありがたい。洋ナシに
はない、日本梨のシャリ
シャリ感とさつぱりとし
た甘味が魅力。巨大梨の
「アスカ」は同祭りのセリ
で150レアルの高値が
付いたそうだが、サンパ
ウロなど都市部でも商品
として出回れば富裕層に
受けそう。